

# 広げよう！優良実践の輪！

～ 平成29年度 優良実践校の取組 ～

取組 1

## 日本「美しい総社中央小学校を 目指して

総社市立総社中央小学校

### 1 はじめに

本校は、「日本一美しい中央小」という一度聞いたら忘れられないスローガンの下「自分で乗り切る力」「友達同士で支え合う力」の育成を目指して様々な取組を行っています。特にこの4年間は、「総社市だれもが行きたくなる学校づくり」をベースに「協同学習」「保こ幼小中連携」「積極的な生徒指導」「特別支援教育・登校支援」に力を入れています。

### 2 取組の概要

(1) 学習内容が深まる協同学習  
「焦点化」「学びの系統」に重点をおき、思考の交流を促進する協同学習に取り組んでいます。

#### ① 焦点化



なぜそう考えたの？

もう少し詳しく教えて。

まとめるとこうなるよ

思考の交流が行われている協同学習

ねらいや活動を焦点化することで、何を学び、どのような学習をしていくのかを児童自らがつかむことができるようになりました。

#### ② 学びの系統

系統を意識することは学習内容を明らかにすることであり、何を物差しに学習すればよいかという見通しにつながりました。

### (2) 中学校区の保こ幼小中連携

中学校区の共通のスタンダードをつくり、同一歩調で教育を行っています。教育の方向性が常に同じであるため、児童や保護者の安心感につながっています。

### (3) 積極的な生徒指導

児童にとつて分かりやすい「挨拶」「掃除」「言葉遣い」を重点に生徒指導を行っています。6年生を中心に児童が自主的に活動できるように仕掛けをしています。それは「認める」という仕掛けです。認められることで居場所ができ、学校を良くしようとする伝統ができてきました。

### (4) 特別支援教育と登校支援

実態を把握して共通理解を図り、学校が居場所になるように全員で声掛けをするようにしました。



毎朝続けられている6年生や運営委員によるボランティアのあいさつ運動

した。また、一人一人にめあてをもたせ、自らの力で解決に向かうようにさせ、生きる力へつなげていきました。

### 3 おわりに

この4年間に、学校環境適応感尺度(アセス)は上昇し、長期欠席者も大幅に減少しました。ボランティア活動など主体的に取り組む児童が増えたと実感しています。今後も生き生きと活躍する児童の育成を目指し、職員一丸となり協同して取り組んでいきたいと思っています。

(校長 横山 昌弘)

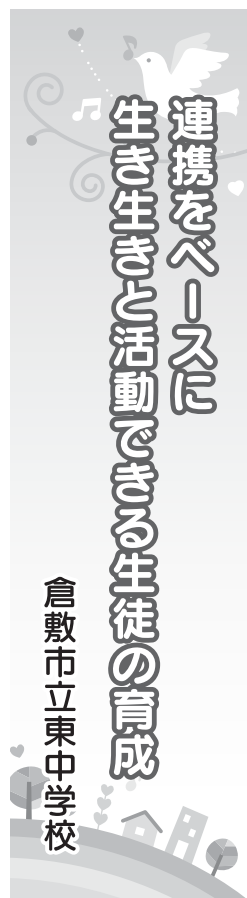


定期的に行われる執行委員会

1 はじめに  
本校は、倉敷駅周辺や美観地区を学区内に持つ市内中心部に位置する学校です。生徒は落ち着いた学校生活を送っていますが、指示待ちの生徒や精神的に弱い生徒が多いので、生徒会活動の活性化、小中連携、地域連携を通して生き生きと活動でき

## 1 はじめに

本校は、倉敷駅周辺や美観地区を学区内に持つ市内中心部に位置する学校です。生徒は落ち着いた学校生活を送っていますが、指示待ちの生徒や精神的に弱い生徒が多いので、生徒会活動の活性化、小中連携、地域連携を通して生き生きと活動でき



る生徒の育成を目指しました。

## 2 取組の概要

### (1) 生徒会活動の活性化

組織に位置付けられながら存在すら知られていなかった評議員会の機能や生徒会執行部の役割を見直しました。そして、学級・学年の課題が評議員会を通して学校全体の問題として取り上げられたり、執行部からの提案を学級討議できる双方向のライン作りにより心掛けました。この繋がりにより生徒会執行部と各学級との意見のキャッチボールができるようになり、規則の改正等が実現しました。

### (2) 小中学校の連携の実践

形骸化していた小中学校の連携を中1ギャップ解消のためのき

っかけにしたいと考えました。そして、生徒と児童、中学校教員と児童、小中の教員間の繋がりを考え、お互いがプラスになり、無理なく継続できる取組から始めることにしました。  
初めて中学校教員の授業を受けた児童は、楽しい学習内容を体験したことで、より中学校入学への期待感が湧いてきたとアンケートに答えていました。また、6年生に勉強を教えている中学生の姿に頼もしさを感じました。

### (3) 地域との連携

本校では、グラウンド・ゴルフをきかっけに老人会の方々が毎月学校に来られるようになりました。校門でのあいさつ運動で生徒に「おはようございます」と温かい声を掛けてくださったり、花の植替え、草取り等の環境整備で学校を支えてくださったりました。また、地域での生徒の様子を詳細に教えてくださったことも地域の教育力の大き



老人会の方と花の植替えを行う生徒

さきの再確認となりました。

## 3 おわりに

生徒会評議員会に、寒さ対策としてひざ掛けの使用が提案されました。早速、執行部で使用方法が検討され、学級討議へと展開し、職員会議を経て、ひざ掛けの使用が実現しました。生徒会組織、小学校、地域との連携が軌道に乗り始めたことは、学校運営上大きな力になりました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

(校長 仁科 康)

※このコーナーの所属は平成29年度のものです。